

第 77 回定期総会

棚野孝夫 全国町村会長祝辞

本日ここに、全国町村議会議長会第 77 回定期総会が盛大に開催されるにあたり、全国の町村長の皆様を代表させていただきます、一言ご挨拶を申し上げます。

はじめに、ご列席の各都道府県町村議会議長会会長、そして事務局長の皆様には、日頃より、地域社会の振興発展のため、ご尽力いただいておりますことに敬意を表する次第でございます。

また、全国町村会の活動に対し、格別のご理解とご協力を賜っていることに、厚く御礼申し上げます。

さて、本席にて、ただいま自治功労者として表彰されました皆様、そして他の模範となる取組により表彰されました議会の皆様、並びに町村議会広報コンクールにおいて見事表彰されました議会の皆様、受賞された皆様からお祝い申し上げます。誠におめでとうございます。

現在、我が国は、人口減少や東京一極集中の流れに歯止めがかからない中、急激な気候変動による自然災害の頻発化や激甚化、紛争や戦争による国際情勢の不安定化などにより、大変厳しい状況に置かれております。

このような状況下において、最優先の課題となっているのが、食料とエネルギーの自給率向上であります。全国 926 の農山漁村地域を多く抱えている町村は、異なる気候風土や地域資源を生かしながら、第 1 次産業を地域の核として、我が国の食料とエネルギーの安全保障を支えるため、重要な役割を担ってまいりました。現在、町村は、人口減少や少子高齢化に加え、地域産業における後継者不足に悩まされるなど厳しい環境におかれておりますが、持続可能な日本を次の世代に引き継いでいくため、今後も使命感を持って努力していかねばなりません。

ただいま行われている総選挙においても、高市内閣総理大臣は食料とエネルギーの安定供給を国の安全保障として訴えております。その期待に応えるためにも我々町村は、より一層責任感を持ってしっかりと取り組んでいく必要があります。そのためには、各々の町村が抱える諸課題の解決と財源の確保を求めていかねばなりません。とりわけ町村の生命線ともいう

べき地方交付税の確保は極めて重要となります。令和8年度地方財政対策では、前年度を大幅に上回る一般財源総額が確保されたほか、臨時財政対策債が2年連続で新規発行額ゼロとなり、地方財政にも十分配慮されたものとして、評価しております。

一方で減税が声高に叫ばれているところでもあり、地方の行財政運営に支障を来すことが無いよう、あわせて強く訴えているところでもあります。

本会といたしましては、全国町村議会議長会とともに一丸となって、町村を取り巻く諸課題の解決に取り組んでまいりたいと存じます。皆様のなお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、全国町村議会議長会の益々のご発展とご列席の皆様のご健勝をお祈り申し上げ、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

令和8年2月6日

全国町村会長 棚野 孝夫